

JA自己改革の取組み



2024.1 Vol.4



農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化

対話を通じた不断の
自己改革目標

JA 利根沼田 第5期中期3カ年計画

笑顔いっぱいの「ありがとう」のために
For Your Smiles, For Your Thanks,



JA利根沼田

利根沼田農業協同組合

〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1940-1
TEL.0278-22-6633 / FAX.0278-22-6666

農業者の所得増大

赤城根レタス JGAP取得

赤城根レタス組合は6月、JGAP（農業生産工程管理）団体認証を取得しました。管内では3団体目の認証となります。農業生産活動の持続性を確保するための、食品安全・環境保全・労働安全に関する認証制度は、取引企業などからの要請が強まっています。



利根沼田産レタスをファミマで販売

J A利根沼田・全農・ファミリーマートの連携により期間限定で、「赤城高原レタスを使ったレタスマックス」が販売されました。産地指定によりお客様に安心安全な商品を、東北・関東・甲信越エリアのファミリーマート店頭で販売しました。



目ぞろえ会で規格統一

エダマメはJ A利根沼田のブランド「豆王」として出荷されるため、高い品質が求められ、粒の数や色などの品質の確認を行っています。



農業生産の拡大

作業効率を高めた施設の展開

沼田水稻育苗センターと西部水稻育苗センターでコシヒカリを中心に4品種の水稻苗の播種作業が行われます。両育苗センターでは、播種機を使い、約13万7千箱を播種。播種した水稻苗は芽出苗が4月上旬から、硬化苗が5月上旬から、利根沼田管内の生産者へ受け渡しされます。

生産者の営農規模と栽培品目の拡大を支援

展示会などを通して情報提供を行い、農業機械メーカー・自動車メーカーが参加し、トラクターや耕運機などの農業機械と乗用車の展示・販売他、軽自動車のスマートアシスト（衝突回避支援ブレーキ）の体験が行われました。



地域の活性化

元気な農業で地域を活性化

地域にとって基幹産業である農業が活性化すれば、関連産業や地域経済にも好循環が生まれ、地域社会全体が元気になると考え、地域の生活に密着した様々な取組みを通して生活インフラを支えています。

- ・アシストホール 人形供養祭
- ・年金友の会グラウンド大会・ゴルフ大会
- ・農業まつり
- ・金融移動店舗車
- ・ガソリンスタンド



体験を通じて農の大切さを伝えます

実際に土に触れて農作業を体験し、植付から収穫までを体験。家族で土に触れ、季節を感じ農業体験を楽しみます。親と子どもの交流の場をつくり、地域で子育て支援を行っています。



広報活動 職員教育

少年学童軟式野球大会 (JAグループ群馬杯)

参加賞や副賞を提供し、地域の子どもたちを応援するとともに、主会場へ横断幕を掲げ、JAイメージ向上と米の消費拡大を呼び掛けています。

農業新聞への投稿やコミュニティー誌の発行

組織の存在価値（事業活動を通じて社会・経済に貢献）を理解し、支援してもらうことで、社会との共存を図り、持続的な成長・発展をうながします。さらに、情報を発信するだけでなく、社会の一員として、ともに歩む姿を広く伝えつづけます。

職員の研修活動

様々な研修を行い、営農技術指導から農畜産物販売、資材販売、貯金・融資・共済など多岐にわたる業務スキルや、コミュニケーション能力を培います。



青年部・女性部 活動



女性部

JAを拠点として、自らの生きがいや家族のしあわせ、食育活動、趣味のクラブ活動、料理教室、レクリエーション旅行等のふれあい活動を通じて、互いに助け合いながら楽しく活動する組織です。近年の女性活躍を後押ししています。

青年部

農業の未来を担う若手農業者が集う組織です。地域貢献や農協事業の推進、若手農業者である部員同士の親睦などを目的に、様々な活動を行っています。JAの事業・活動を通じて、農業の理解を促進しています。



対話運動の展開

地区別座談会開催

座談会はより多くの地域の声を受け取ることを目的に開催されます。組合員のニーズを直接聞く貴重な機会として、3年ぶりの開催となりました。組合員のためのJAであるべく、活発な意見交換が行われました。

直売所にて対話を実践

12月5日、当JAは出荷に訪れた生産者や店舗の利用者と、JA自己改革について対話しました。組合員や利用者の声を聞き、農業生産の拡大、農業者の所得増大、地域の活性化の達成を目指します。沼田農産物直売所と食彩の森、ファミリーマートJA利根沼田月夜野店の3カ所で行い、常勤理事と支店長らが参加しました。



SNSの活用 LINE公式アカウント友だち募集中

営農畜産部ではLINE公式アカウントを立ち上げ、組合員の皆様に寄り添う、営農畜産に関する情報配信を始めました。

JA利根沼田 営農NEWS

友だち募集中

営農畜産に関する情報等を配信

JA利根沼田 自己改革行程表(数値編)抜粋 令和5年度 第2四半期実績

農業者の所得増大・農業生産の拡大

実施事項		目標とする指標	令和5年度		取組状況
対象者	売上増加・コスト削減効果【想定】		目標値	第2四半期実績	
販売先ニーズに応えた強化品目野菜の取引の拡大を通じた売上増加		強化品目野菜取引数量	トマト 6700 t	トマト 4,071 t	面積拡大への訪問推進活動を実施。大手量販店で利根沼田フェアを開催。規格・品質統一に向け、選果選別を強化した。
中核的担い手～多様な担い手	トマト1kgあたり315円 枝豆1kgあたり910円		枝豆 345 t	1kg当たり277円 枝豆 252 t 1kg当たり961円	
銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト削減		銘柄集約肥料取扱数量	21,000 袋	9,700 袋	限定銘柄につき支店自取も可能とした年内早期供給対策を実施し、実績の挽回を目指す。
全ての農業者	1袋あたり350円				
担い手直送大型規格除草剤の取扱拡大を通じたコスト削減		担い手直送大型規格除草剤取扱数量	20 件	21 件	本年は農業の値上がりにより在庫の活用でしか割安感が出せなかったため従来の顧客のみの推進であった。来年は通常通りの価格差が見込まれるためより多くを対象とした推進を行っていく。
全ての農業者	500mlあたり700円				

県域共通目標

県域共通目標	目標とする指標	令和5年度		取組状況
		目標値	第2四半期実績	
販売品取扱高の拡大（畜産を除く）	販売品取扱高	9,880 百万円	6,099 百万円	市場流通の有利性を生かした契約的販売の拡大に努めた。大手量販店で利根沼田フェアを開催。

地域の活性化

実施事項	目標とする指標	令和5年度		取組状況
		目標値	第2四半期実績	
農業振興の応援団の拡大	意思確認書の提出人数	40 人	43 人	准組合員加入時に農業やJAの概要等説明し理解を促している。

経営基盤の確立・強化

実施事項	目標とする指標	令和5年度		取組状況
		目標値	第2四半期実績	
適正な手数料率による販売手数料と施設利用料の確保	販売手数料率 予冷費 コンテナ使用料	目標とする指標の実施	3月より販売手数料を3.5%で実施	目標とする販売実績（指標）を目指し収益増を目指す。
新施設により南部地区の統合と各集荷所のハブ化を行い集出荷機能改善と品質の均一化を図り有利販売に繋げると共に業務及び輸送の効率化を図る（9集荷所を7集荷所に統合）	再編集荷所	9拠点 (再編計画決定)	9拠点	将来的な管内の生産出荷概要を捉える為、園芸事業に係るアンケート調査票を配布し現在回収中。

対話・意思反映

項目	令和5年度		取組状況
	目標値	第2四半期実績	
組合員とのふれあい訪問・対話（人数）	8,000人以上	4,583人	地域ふれあい係を中心に訪問活動の中で対話による意見・要望の集約に努めている。
准組合員個別モニター（広報モニター）	50人以上	53人	各支店からモニターを53名選定し広報誌の配布等、訪問活動を実施している。
准組合員アンケート（人数）	年1回 50人以上	2人	個別モニターに対して、下期にアンケート等を実施し准組合員としての意見を聴取する。